

## 代表派遣会議出席報告

平成19年7月23日

上田誠也

### 1 会議概要 4年毎に開催される地球物理学の世界最大の学会

#### 1) 名称

(和文) 第24回国際測地学地球物理学連合総会

(英文) XXIV General Assembly of International Union of Geodesy and Geophysics

#### 2) 会 期 H 19 年 7 月 1 日 ~ 13 日 (13 日間)

#### 3) 会議出席者名 上田誠也

#### 4) 会議開催地 ペルージャ (イタリア)

#### 5) 参加状況 (参加国数: 約100、参加者数: 約4000、日本人参加者: 約400)

#### 6) 会議内容

4年ごとに開催される国際測地学地球物理学連合(IUGG)の総会であり、今回は2003年に日本学術会議主催で、札幌において開催された。(上田は組織委員長をつとめた。) 地球物理学全般にかかわる学術発表、研究組織・国際協力などが討議される重要な会議である。

(日程及び会議の主な議題)

・2週間にわたり、連日ユニオン・シンポジウム、ユニオン・レクチャー、および測地学・地震学・火山学・地球電磁気学・気象学・海洋学・水文学の7学協会主催のシンポジウムが開催された。その間をぬって、IUGG 本体および各学協会とその下部組織の会合がもたれた。

(会議における審議内容・成果)

・会議は多岐にわたり、その全容を紹介することは不可能だが、筆者のかかわった事例に関する限りは、「地震電磁気学」なる新しい学問分野の振興および研究推進について目覚ましい成果があった。

(会議において日本が果たした役割)

・筆者の関わる事例では、日本は指導的役割を果たした。

#### 2. 会議の模様

ペルージャという小都市の立地条件は IUGG 総会のような大規模集会には理想的ではなかった。施設の不備のみならず、運営・広報いずれの面でも参加者に多大の不便を強いるものであった。次回予定のメルボルン市は、この点、はるかに恵まれた環境にあると思われる。

次回開催予定 2011 年 7 月 (オーストラリア・メルボルン)

